



桑名市長 伊藤 徳宇

令和5年度決算におきましては、市税収入が増収となり、2年連続で過去最高額を更新いたしました。
今後も、確固たる財政基盤を基に、パブリックトランスフォーメーション＝行政変革のもと、健全な財政経営を行い、夢のある未来につながる「桑名らしいまちづくり」を進めてまいります。

市の財政状況を示す主な指標

	令和5年度	令和4年度	比較
将来負担比率	36.4%	42.5%	6.1ポイント改善
経常収支比率	92.6%	89.6%	3.0ポイント上昇

将来負担比率とは

地方債の残高など、市の一般財源等が、将来負担すべき実質的な負債の規模を示す指標であり、この数値が低いほど将来の負担が低く、財政は健全といえます。

経常収支比率とは

地方税や地方交付税に対し、人件費や扶助費、公債費などの削減することが容易でない義務的な経費が占める割合で、この数値が低いほど財政構造のゆとりがあり、財政は健全といえます。

市の貯金と借金

		令和5年度	令和4年度	比較
貯金	基金残高(一般会計)	159億7,052万6千円	153億5,677万6千円	6億1,375万円 増加
	内 財政調整基金	65億5,716万7千円	70億3,802万8千円	4億8,086万1千円 減少
	内 訳 その他	94億1,335万9千円	83億1,874万8千円	10億9,461万1千円 増加
借金	地方債残高(一般会計)	508億2,150万3千円	529億5,535万9千円	21億3,385万6千円 減少
	内 臨時財政対策債	228億5,844万6千円	245億1,924万8千円	16億6,080万2千円 減少
	内 訳 その他	279億6,305万7千円	284億3,611万1千円	4億7,305万4千円 減少

財政調整基金とは

経済状況の変動による大幅な税収の減少や災害などの予期できない支出に備えるための基金で、一般家庭の特に目的を決めていない預貯金にあたります。

臨時財政対策債とは

地方交付税の不足分を補うために特例として認められている地方債で、償還費用は全額、国が負担するため、実質的な市の負担は生じません。

令和5年度決算の概要

市税収入が昨年に引き続き過去最高となり、市の貯金である基金残高は8年連続で過去最高額を更新し、市の借金である地方債残高は減少するなど、実質的な将来の負担を示す「将来負担比率」は平成19年度の算定開始以来、最も改善した比率となりました。

また、財政構造のゆとりを示す「経常収支比率」は物価高騰や社会保障経費の増加などの影響を受け、上昇しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大以前の水準を維持しています。

この記事に関する問い合わせは 問 財政課 (☎ 24-1137 FAX 24-6312)
企業会計については 問 上下水道部企画総務課 (☎ 49-2005 FAX 48-3585)

令和5年度 決算報告
～10年先、20年先の桑名市のために～

9月の市議会定例会で令和5年度決算が認定されました。決算は、一年間にどれだけのお金が入り、どのように使われたのかを明らかにしたものです。

一般会計・特別会計・企業会計

会計		区分		
		歳入(収入済額)	歳出(支出済額)	
特別会計	一般会計	626億7,848万9千円	596億8,970万3千円	
	国民健康保険事業	137億1,138万4千円	133億5,799万7千円	
	農業集落排水事業	1億4,745万4千円	1億297万5千円	
	介護保険事業	115億2,814万5千円	110億9,701万3千円	
	後期高齢者医療事業	36億4,845万9千円	35億7,906万円	
	地方独立行政法人桑名市 総合医療センター施設整備等貸付事業	9億6,446万8千円	9億6,446万8千円	
企業会計	水道事業	収益の収支	31億1,847万円	28億8,082万7千円
		資本の収支	14億4,621万2千円	19億813万4千円
	下水道事業	収益の収支	51億8,852万5千円	47億3,740万7千円
		資本の収支	29億5,911万6千円	40億5,640万円
合計		1,053億9,072万2千円	1,023億7,398万4千円	

一般会計内訳

歳入	626億7,848万9千円
自主財源	
市税	233億3,151万1千円 37.2%
▶皆さんに納めていただいた市民税、固定資産税など	
繰入金	38億1,339万5千円 6.1%
▶基金からの繰入金など	
繰越金	38億3,831万1千円 6.1%
▶令和4年度から繰り越されたお金	
その他	40億1,079万円 6.4%
▶受託消防の負担金や公共施設の使用料など	
依存財源	
地方交付税	59億6,290万8千円 9.5%
▶所得税などの一定割合を国から交付されたお金	
国庫支出金	96億8,638万2千円 15.5%
▶国が認めた事業に対し交付されたお金	
市債	33億8,780万円 5.4%
▶公共施設の整備などのために借り入れたお金	
その他	86億4,739万2千円 13.8%
▶県支出金や地方消費税交付金など	

歳入歳出差し引き29億8,878万6千円は、
全額令和6年度に繰り越しました。

歳出	596億8,970万3千円
議会費	3億5,537万6千円 0.6%
▶議会の運営など	
総務費	110億1,570万円 18.5%
▶庁舎の管理、戸籍、税の収納、選挙など	
民生費	214億8,383万8千円 36.0%
▶児童、高齢者、障害者の福祉など	
衛生費	51億1,290万3千円 8.6%
▶健康診断、予防接種、ごみ処理など	
労働費	4,590万円 0.1%
▶就労者支援など	
農林水産業費	10億5,614万7千円 1.8%
▶農業、漁業の振興など	
商工費	3億6,359万3千円 0.6%
▶商工業の振興など	
土木費	46億4,005万4千円 7.8%
▶道路、公園などの整備・維持など	
消防費	31億2,039万3千円 5.2%
▶消防、救急、防災対策など	
教育費	50億9,507万円 8.5%
▶学校教育、生涯学習、文化振興など	
公債費	56億8,191万7千円 9.5%
▶市の借金返済	
諸支出金	17億152万6千円 2.8%
▶公営企業会計への繰り出しなど	
災害復旧費	1,728万6千円 0.0%
▶災害の復旧	